



PRESS RELEASE

2020年8月12日

アッヴィ、結婚に関する新ガイドラインを8月1日から導入

- 就業規則および諸規定において同性婚・事実婚を、法律婚と同じ扱いにする
- 違いを認め、相互に尊重し合い、誰に対しても敬意をもって接し、誰もが自分らしく生き、働ける多様性のあるインクルーシブな職場環境づくりを推進する
- アッヴィのダイバーシティ&インクルージョン文化の醸成に全社を挙げて取り組む

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は本年8月1日付で、結婚に関する新ガイドラインを導入したことをお知らせします。これにより、就業規則および諸規定において、同性婚・事実婚が法律婚と同じ扱いになり、同性婚・事実婚関係にある相手方をパートナーと定義し、具体的には特別休暇、住宅手当、家賃補助、慶弔贈与・見舞金支給などが受けられるようになります。また、ガイドラインには、「同性婚・事実婚のハラスメントの禁止」や「相談窓口」についても定められています。

私たちは、ダイバーシティ&インクルージョン(以下、D&I)を、違いを認め、相互に尊重し合い、誰に対しても敬意をもって接し、多様な考え、意見、バックグラウンドを相互に尊重し視野を広げ、一人一人が組織にとって重要であることを積極的に受け入れ、異なる視点を持つ個人とチームの間でイノベーションの創造とコラボレーションが促進されることであると考えます。

その考えを具現化するD&I文化の醸成に、自発的に参加する社員によって運営されているD&Iコミティのメンバーが強力な推進役を担っています。直近では、「Celebration of Culture」というアッヴィ・カルチャーを全社員で再確認し、さらに醸成するためのグローバル規模での社内イベントの中で(日本では7月21~28日をカルチャーウィークとし開催)、数々のオンラインイベントの企画・運営を行いました。プログラムの中には、LGBTやアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)についての専門家によるセミナーや、社員による育休座談会もあり、社員はアッヴィ・カルチャーを体感しD&Iについてさらに理解を深めることができました。

社長のジェームス・フェリシアーノは次のように述べています。「アッヴィでは、どんなバックグラウンドを持った人も、どんなライフ・ステージにあっても、全員が自分らしくベストを尽くせる環境づくりに取り組んでいます。この取り組みを私たちはMy Journey, My Choiceと呼んでいます。今回の結婚に関する新ガイドライン導入もその一環です。自分らしく働ける職場環境で、能力や創造性を最大限に発揮して成長してほしい。それがアッヴィのビジョン達成を可能にし、同時に医療や社会への

貢献につながります。全ての社員が、人種、性別、性的指向や性自認、また、宗教などによって差別されることなく、働くことができる環境をつくるため、私たちは今後も手を携えて行動していきます」

My Journey, My Choice について

アッヴィではどんなバックグラウンドを持った方も活躍できる環境をつくり、社員が自主性とオーナーシップを持って柔軟に働くことができ、自分の人生を自分で選択できる働き方を推進しています。それが、My Journey, My Choice です。これまでの主な取り組みは以下のとおりです。

- 「いつでもどこでもワーク」

コアタイムなしのフレックスタイム制度と、これまでの在宅勤務制度から場所や利用回数の制限を外したテレワーク制度。早期にリモートコミュニケーションツール等を整備し、新型コロナウイルス感染拡大前から実施しています。

- 「居住地選択 MR 制度」

医療情報担当者(MR)を対象に、介護や育児とワークの両立が可能な居住地を選択できる居住地選択制度

- 「ドレス・フォー・ユア・デイ(その日の服装をあなたがきめる)」

ビジネスシーンにふさわしい身だしなみを心がけることを基本に、TPOに応じた適切な判断で柔軟に服装を選び、快適かつ機能的な服装で業務を行うことを可能にしたドレスコード

- 「アクティビティ・ベース型・ワークスペース(ABW)」

ABW は社員がその時々に必要な業務に対して最適なスペースを選択できることを可能にし、アッヴィでは社長も含め全員に固定席はありません。創造的かつ効率的な働き方を可能にし、部門や職位にとらわれないコラボレーションやオープンなコミュニケーションが促進されます。

my journey, my choice

私たちは、

どんなバックグラウンドを持った人も、どんなライフ・ステージにあっても、

アッヴィでの働き方・生き方を自ら選択することで、

働きがい・生きがいを感じながら、成長に挑戦し続けます



アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,200 人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。